

まこと

ののうちまこと VOL.23

発行：ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより——March
発行日：2017年3月29日

松江市を変える力として

2期目の議員活動では、町政時代の長い企画畑などの行政経験で培った知見と構想力で、松江市政へのチェックや提言を積極的に行っています。2月定例会では連続22回目の一般質問を行うなど、これらの成果は各方面にわたり数多くの回答を導きだしました。

野々内は、愛する東出雲町を始め松江市の発展と市民の皆様幸せのために、今後も全力を尽くす覚悟です。地域産業の活性化や人口減少対策、福祉の充実など、課題は山積しています。松江市をひとときわ輝く都市にするために、初心を忘れず「まじめに」「ひたむき」な姿勢を堅持しつつ、松江市を変える力として夢を持って課題の解決に取り組みたいと考えています。



松江市を
変える
力
ちから

松江市議会
議員選挙

告示日：4月9日(日)
投票日：4月16日(日)
(期日前投票：4月10日～15日)

選挙は国民の義務と権利です。投票に行きましょう。
市の広報等で確認のうえ、お出かけください。

野々内はめざします

●活力のある松江市の発展に努めます

◆ 地方創生に呼応する「松江市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の進行管理と提案に努めます。

●東出雲地域の発展に努めます

◆ 合併市町村基本計画(まちづくり計画)の適切な執行を働きかけます。
◆ 市街化区域制度と都市計画税制度の再考と是正に努めます。

●産業振興に努めます

◆ 産業に強い東出雲地域を中心に、製造業への振興施策の拡大と雇用対策に努めます。
◆ 中海干拓地内の元暫定ため池の工業団地としての活用の促進に努めます。
◆ 継続可能な営農と特産品づくりなど農業の振興に努めます。
◆ 松江市の特徴を活かした松江ならではの観光と文化の振興に努めます。さらに、意宇川流域の連携に努めます。

●基盤整備に努めます

◆ 災害に強く安心安全のまちづくりに努めます。
◆ JR東松江駅周辺の整備と活性化に努めます。
◆ 揖屋・馬潟線の早期全面開通などの道路網整備の促進に努めます。

●教育や福祉の充実に努めます

◆ 心が通い笑顔があふれるまちづくりのために、公民館活動や地域活動の振興に努めます。
◆ 学校図書館活用教育の充実や施設の充実など、教育の振興に努力します。
◆ 保育園入所の待機児童解消の取り組みや、子育て支援の充実に努めます。
◆ 元気な高齢者対策や高齢者施設拡充など、高齢者福祉の充実に努めます。
◆ 社会参加を促し生涯を通しての支援で、しょうがい者福祉の充実に努めます。

最近の活動から

揖屋馬潟線の勉強会

2月9日に都市計画道路揖屋馬潟線の勉強会として、事業説明会・現地調査に出かけました。県において施工中の660m区間は、用地交渉中の現地や工事現場を歩いて視察。残る1,200m区間は、平成29年度から設計が始まります。早期の全面開通をめざし働きかけに頑張ります。



現地を視察しました

地域づくり意見交換会が開かれました

地方創生総合窓口の出前事業として、地域づくり意見交換会が市主催で2月16日に東出雲ふれあい会館で開催されました。市内でも希な人口増の東出雲町地域ですが、町内5団体から地域の課題や問題提起もありました。民力の高まりがまちの魅力や力となるよう、行政支援の取り組みを進めていきます。



市幹部の説明

ののうち誠後援会 事務所を開設しました

ののうち誠後援会事務所を自宅のほかに元ひがいも食堂に開設し、松江市政への相談や問い合わせに応じています。政治活動の拠点としてお気軽にお立ち寄りください。

ののうち誠後援会事務所

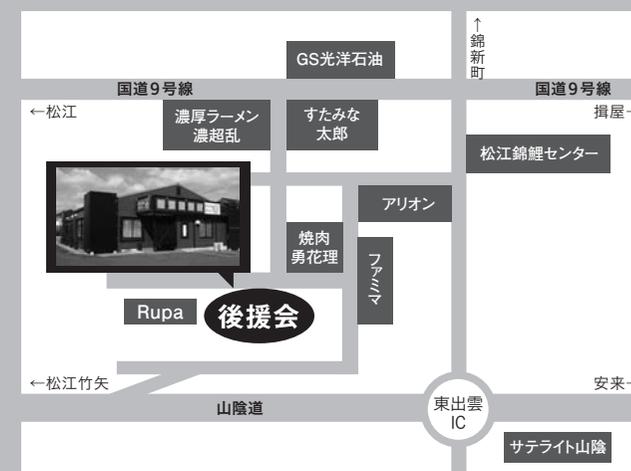
(元「ひがいも食堂・中華食堂大家」)

松江市東出雲町意宇南1丁目5-5

TEL 0852-61-8182 FAX 0852-61-8183

携帯 080-2901-0569

Eメール kaeruchikara@joy.ocn.ne.jp



後援会のお知らせ

◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX / 0852-52-3117
携帯080-2901-0569
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきたいと思います。この度後援会だよりvol.23を発行いたしましたので、ご覧いただけますようお願い申し上げます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在66歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選

ホームページ、
ブログは
こちらから



一般質問

野々内は、2月定例市議会では連続22回目となる一般質問を行いました。

Q 市総合計画の産業振興策について

ものづくり産業振興策や企業立地の推進の具体化について伺う。

市総合計画案は、市版総合戦略で掲げた人口減少対策を核に「選ばれるまち松江の実現」を将来像に掲げ、基本目標や基本施策が盛り込まれています。

この計画の主要施策の「ものづくり産業の振興・新産業の創出」や「雇用の場の創出のための企業立地の推進」について、市長はどう具体化し効果を上げる考えか伺います。

松浦市長 もうかる企業づくりを目標に行いたいと思っています。積極的に企業訪問を行い企業にとって

整備への支援について調査研究を行っています。今後、実施に向け検討したいと考えています。

Q 保育所入所の待機児童対策について

民間保育所の施設整備は、今後の人口減に伴う出生数減から限界があります。市有施設の有休部分を一定期間活用した保育事業の受託者募集など、緊急対策として待機児童対策を行う考えはないか伺います。

井田健康福祉部長 施設整備を加速化させるとともに、年度中途の受け入れにも、一般財源を投入した補助制度など活用して、新年度も力を入れて対応したいと思っています。

緊急対策としては、既存施設を有効活用した新たな取り組みも必要と考え研究をしているところです。

Q 除雪体制について

今年の除雪体制の状況と今後の対策について伺う。

今年の冬は大雪に見舞われまし



必要とされる支援メニューを提供していきたいと考えています。特に、IT技術を活用した生産性の向上、自社製品を持つこと、新技術の開発の取り組みを支援したいと思っています。

雇用の場の確保での製造業については、東出雲町の揖屋干拓工業団地を助成対象の団地に加え、県外からの誘致や地元企業の増設、移転等にも対応していきたいと思っています。

農業の振興策として、後継者問題への取り組みと具体的かつ真剣なビジョンを盛り込んだ実施計画の考え方を伺う。

農業後継者は極めて少数で、新規就農者も期待できない状況です。主要施策には「地域と食を支える農林水産業の担い手づくり」と

たが、除雪体制については平成23年正月の積雪量56cmの豪雪の教訓は活かされたのでしょうか。市内の建設業者の減少により除雪の機動力が減少しているようですが、今年の除雪体制の状況と今後の対策について伺います。

小川都市整備部長 除雪体制は、現在59社の協力業者と除雪や凍結防止剤散布の実施のために委託契約を締結しています。また、借上げ除雪機械の99台に市や県の保有の16台を加え、合計115台で除雪作業を実施しています。

近年、建設業者の減少や重機を保有しない業務体系となってきたおり、除雪機械の確保が今後の課題の一つであり、今後、さまざまな方策を検討したいと考えています。

気象情報や防災情報を市のホームページに掲載することに伺う。

本市のホームページには大雪情報などが載っていないかったという指摘があります。市民の皆さんの情報取得環境は様々であり、松江市防災メールと同一の内容を市の

して掲げられていますが、どう取り組む考えか伺います。

また、この計画を補完する実施計画に、地域毎の農業者が求める具体的で真剣なビジョンを示す考えはありますか。

松浦市長 後継者不足は、儲からないことがその大きな原因だと思っています。安定的に収益が上がるために、ブランド品づくりや松江の特徴を捉えた地産地消を連携できないでいく必要があります。そのためにも、スムーズに農業に参入できる手だても講じていきたいと思っています。

また、地域ビジョンを具体的に示すことはそのとおりで、これを盛り込んで



中海干拓揖屋工区での特産キャベツの収穫



2月大雪の除雪作業

ホームページに登載することについて、お考えを伺います。

多久和防災安全部長 防災メール配信をホームページに自動配信表示する事はシステムの違いから対応ができていません。アクセスしやすいホームページとなるよう研究するとともに、利用方法についても周知を図りたいと考えています。

(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)

だ農業振興計画を平成29年度末までに見直しをしていく考えです。

Q 地域の集会所に空き家を利用することについて

人口減少時代に対応するため、地域の集会所に空き家の利用を選択肢として考えられないか。

集会所建設や改築は高額の出費が必要です。そこで地域の空き家の活用策として、本市の「空家等対策計画」にある耐震改修費などの一部補助を取り入れれば、住民負担も少なく集会所機能を得ることができそうです。

人口減少時代に対応するため、地域の集会所に空き家の利用を選択肢として考えられないか伺います。早稲市民部長 空き家を地域の集会所として活用することは、地域自治活動の振興、空き家対策の両面において有効な手法であると考えられます。昨年、賃貸借による集会所

中核市指定を総務大臣に申し出る議案などを可決 2月松江市議会

2月定例市議会は2月22日から3月16日までの会期で開会されました。今議会は、中核市の指定を総務大臣に申し出る議案や松江市総合計画を定める議案など市長提案の105議案と、議員提出議案2件を可決しました。

このうち、平成29年度一般会計予算は骨格予算で930億6,700万円。引き続き地方創生に取り組み予算となっています。また、一般会計補正予算は約27億1,600万円で、国の経済対策に呼応した平成29年度当初予算と一体となって実施していく予算となっています。

(予算金額や提出議案の詳細はホームページや市報をご覧ください)